

MRI 検査説明書 —MRI 検査を受ける方へ—

MRI 検査の特徴について

MRI 検査は強力な磁石と電波を使う検査です。検査中は大きな音と振動がします。検査時間は約 30 分から約 60 分です。検査着に着替えていただきます。検査は台の上に横になって、狭いトンネルの中に入って行きます。極度の閉所恐怖症の方や、小さなお子さんの場合は薬を使って眠っていただく場合があります。



造影剤使用について

- ・造影剤というお薬を使いながら検査をする場合があります。午前中の検査であれば朝食を、午後の検査であれば昼食という具合に、念のため検査直前の食事は抜いてきて下さい。
- ・造影剤使用に際し、検査予定日から 3 か月前までの、腎臓の働きを調べる血液データがない場合は、メディカルシティ東部病院にて血液検査を行います。その場合、検査結果が出るまでに約 45 分お待たせいたします。予めご了承ください。
- ・造影剤を使って検査する場合は別紙の造影剤使用同意書で詳しいご説明をいたします。



検査に伴う危険性

以下のようなものが体内に入っている方は、MRI 検査を受けることが危険です。スタッフにご相談ください。

- ・心臓のペースメーカー ・除細動器 ・金属製の人工心臓弁 ・人工内耳・金属製の義眼 ・脳、脊髄の神経刺激装置 ・骨成長刺激装置・その他、取り外しのできない電子機器 ・金属製のステントを挿入して間もない（概ね 6 週間以内）・素材不明の金属 ・安全確認が取れていない脳動脈瘤手術のクリップ



検査に注意が必要な場合

次の方は、検査は可能ですが注意が必要になります

- ・金属製顔料を使用したアイラインや化粧を使用されている方（やけどの可能性がありますが）検査前に化粧を落とさせていただきます。化粧落としや、検査後の化粧道具をご持参下さい
- ・カラーコンタクトレンズを使用されている方（金属を含んだ製品があります）検査前に外していただきますので、保存容器とメガネをお持ちの方はメガネをご用意ください
- ・刺青のある方（やけどを生じる可能性や変色することがあります）
- ・妊娠 3 カ月以内。胎児への安全性が確立されていないため、急ぐ必要のない方は妊娠 4 カ月以降に検査します
- ・極度の閉所恐怖症（薬を用いた入眠が必要なことがあります）
- ・マグネット付きの義歯や義眼を使用している（義歯や義眼などが付かなくなる場合があります）検査前に取り外してください。
- ・湿布薬・ニトロダーム（ニトログリセリン真皮浸透絆創膏）・ニコチンパッチを貼っている。電流が流れる場合がありますので外していただきます。予備ご持参ください。
- ・小児（薬を用いた入眠が必要なことがあります）
- ・金属加工業をされていた方、現在されている方（体内、特に目の中に金属片が混入している場合があります）
- ・けがや事故などで体内に金属片や異物が入っている。画像のゆがみの原因になります
- ・ヒートテック等の保温下着や、遠赤外線着はヒリヒリ感や火照り、発熱の可能性がります。



MRI 造影剤検査説明書（院外依頼用）

以下の通り概要を説明します。

「必要性」と「副作用」をご考慮の上、造影剤の使用にご同意いただける方は、別紙の「MRI 造影剤使用同意書」にご署名の上、メディカルシティ東部病院職員へお渡してください。なお、署名された後に同意を撤回する事も出来ます。

1. 造影剤使用の必要性について

造影剤を静脈内に注射し、血管や色々な臓器を見えやすくします。腫瘍などの病変もわかりやすくなり、正確な診断ができます。

2. 造影剤の副作用・合併症について

造影剤による何らかの副作用が 100 人中 1 人くらいの頻度で起こることが学会等で報告されています。多くはかゆみ、じんま疹、吐き気といった軽い症状で治療の必要はありません。ただし、冷汗、血圧低下、呼吸困難、ショックといった重篤なものが、35~45 万人に 1 人くらいの頻度であり、極めてまれに重篤なショックでの死亡が 2000 万人に 1 人の頻度で報告されています。また、以前の造影検査で症状がなかった方でも、その後の検査で副作用、合併症を生じる場合があります、注意が必要です。

3. 緊急時の対応について

上述のような副作用が発生した場合は、検査担当医師や看護師が適宜対応致します。重篤な副作用、偶発症が起きた場合は、他科の医師と協議し必要な処置を行いますが、症状によっては入院治療等が必要になることがあります。その際の診療も通常の保険診療にて行います。

4. 検査前の処置について

特に食事制限の必要はありませんが、お腹の検査の場合は食事を控えてください。この際、水分やお薬はいつも通り服用されても構いませんが、念のため担当医師にご確認ください。

5. 検査後の生活について

造影剤は尿と一緒に排泄されますので、普段より多めに水分を摂取して下さい。食事も普段通り摂取して頂いて構いません。万一、検査後時間が経ってから体調が悪くなられた場合には、かかりつけ医、及び、メディカルシティ東部病院（電話：0986-22-2240）にご相談ください。

6. 検査の同意について

この MRI 造影検査説明書の内容を読み、造影剤の使用に同意される場合、別紙の「MRI 造影剤使用同意書」に署名の上、担当者へお渡してください。なお、一旦検査に同意し署名された後でも同意を撤回することもできます。また、検査当日に体調が悪い方は、担当職員へお申し出ください。